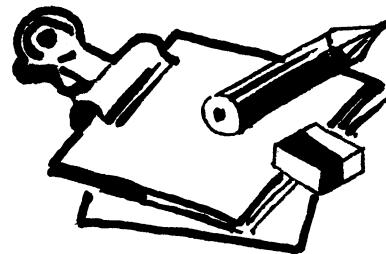


## 教育事務所

# 日誌

— 相 双 —

いやあ！あるわあるわゴミの山



きれいになった砂上でのすもう大会も楽しい



実施当日、登校後、直ちに、朝もやをついて、学校から約二キロメートルはなれた原釜海岸へ。

ここで、両校の連絡会の計画により仕事の分担。場所、時間などを聞いていっせいに作業開始です。

小学生は、原釜海水浴場一帯、約四五百メートルの範囲のがらくたをビニール袋に入れてあつめます。

中学生は、さらに外回り、松川浦口までの約千五百メートルをうけもち、兄さん、姉さんの力の見せどころとばかり、廢木を使つたんかや船舶用口一端で、流れついた大きな廃材などまでエンヤコーラとあつめて回ります。

特に、夏休み前の清掃は大々的で両校合同、一日がかりで行います。

相双からは、夏にさきがけ、「海浜清掃」の話題をお届けします。  
相双の海岸線は、まもなく、青い海に涼を求める人々でにぎわいます。  
でも、にぎわいが増すだけ、美しい景観が心ない人々の捨てる空かんやびん、その他の廃品でそこなわれていくことも悲しい事実です。

こうした事態に心を痛めている相馬市立中村第二小学校、同中村第二中学の児童生徒たちは、「わたしたちはふるさとの自然を保護します」。(中村二中生徒会環境整美宣言)をモットーにすでに十数年も前から、学校をあげての海浜清掃を実施しています。

特に、夏休み前の清掃は大々的で両校合同、一日がかりで行います。

特に同じ管内の双葉郡大熊町立熊町小学校でも、すでに数年前から五年生が校区内の海浜清掃をやつ正在のことです。相双の海岸線、北でも南でも、今年もまたまもなく、この海浜清掃が行われます。県内各地のみなさん、ことしもたくさんおいでください。先にあげたような小・中学生のかげの努力に拍手をおくつてください。